

日中教育学系合同シンポジウム2007

1. 北京師範大学との2度目の合同シンポジウム

2006年6月、北京師範大学教育学院との学術交流協定の締結を記念して北京師範大学教育学院で行われたシンポジウムに続き、本年は2度目の合同シンポジウムを、京都大学で開催することになった。準備に際し、3月末に金子勉准教授と渡邊が訪中して張学院長・李副学院長（当時）と全体構想を話し合い、7月初旬には院生代表・副代表を含む院生3人、安川助教、渡邊で教育学院を訪問し、院生同士・教員同士の具体的な打ち合わせを行った。



▶全体会の様子

2. 教育学院の訪問団とシンポジウムの概要

2007年11月6日～7日、「日中教育学系合同シンポジウム2007」が開催された。北京師範大学教育学院からの訪日団は、顧定倩教育学院副院長を団長とし、曾曉東副教授、張東嬌副教授、姜星海専任講師、袁慧助教の教員5人および院生6人の計11人であった。

一行は4日に京都に到着し、5日に附属図書館見学後、教員・院生ごとに準備打ち合わせを行った。院生は「プレ企画」として「日中院生交流会」を開いた。

6日の全体会は「日中の教育課題と教育学研究」がテーマで、両機関の教員教育学研究科と教育学院から2人ずつの教員が登壇した。教育人間学、日本近世教育史学、教育経済学、教育管理学という異なるアプローチによって、現代日中の教育における重要課題が明確化され、それを乗り越えるための示唆が提起された。各々の発表後の活発な質問は、日中両国の現状を踏まえた教育理解を深め、共通課題への取り組みの可能性を示すものとなった。

7日の教員分科会は「現代日中の特別支援教育」「現代日中の大学生を考える」であった。前者では、中国の聴覚障害児の教育を中心に、特殊教育の現状と教員養成、日本の障害児教育の流れを受けた発達早期における保育現場での特別支援教育の取り組みが報告され、質疑応答や意見交換がなされた。後者では、日本の大学生の学びと人間形成、中国の大学院博士課程の教育実態、大学生のキャリア教育の問題などが報告され、高等教育研究の観点から活発な討議が行われた。

7日に終日行われた院生分科会は、日中院生が7月から相互に連絡を取り合い、学内実行委員会を組織して、企画準備を進めてきたものである。当日は、二つの会場（日本語・中国語・英語での発表と討議、および英語のみで発表・討議）で、異文化間コミュニケーションの難しさに四苦八苦しながらも、真剣な報告と熱心な質疑、活発な討議を展開した。報告者のみならず、院生・学生ボランティアも、裏方や司会として運営や進行を支えた。分科会報告は、修士課程の院生が英語で果敢に挑戦した。院生分科会も北京に続き2度目であり、準備には前回訪中した院生たちも協力して



▶教員分科会Ⅰの様子



▶院生分科会Ⅱの様子

くれた。分科会や日中院生交流会に加え、歓迎会、観光などインフォーマルな交流の機会も活用され、内実のともなった日中院生交流となったように思われる。最終全体会では分科会講評を兼ね、大塚雄作教授（高等教育研究開発推進センター）が、北京シンポジウムをスライドで振り返りつつ、継続の意義について印象深いプレゼンテーションをしてくださった。会場には不思議な連帯感が感じられ、とても印象深かった。

3. 全プログラムと登壇者

11月5日(月) プレ企画「日中院生交流会」
(10:00～13:00, 於:教育学部320室)

11月6日(火)「現代日中の教育課題と教育学研究」
(於:芝蘭会館・研修室2)

9:30～ 開会

10:00～ 「教育の起源はどのように今日の教育を規定しているのか — 死者からの贈与と死者への負い目 —」

矢野 智司 教授・副研究科長

11:00～ 「中国義務教育段階における学校選択現象に関する研究」 張 東嬌 副教授

14:00～ 「『江戸』の学習文化と日本の教育」 辻本 雅史 教授

15:00～ 「中国の社会変遷と教育問題」 曾 曉東 副教授

16:00～ 日中参加教員・院生紹介

司会:鈴木 晶子 教授・曾 曉東 副教授・副院長

11月7日(水) (於:京大会館)

教員分科会Ⅰ「現代日中の特別支援教育」

10:00～12:00 (103室)

・「中国の特別支援教育 — 聴覚障害児教育を中心に —」 顧 定倩 副教授・副院長

・「日本の発達早期における『特別支援教育』の現状と課題 — 保育所・幼稚園への保育カウンセラー派遣の意義を探る —」 遠藤 利彦 准教授

教員分科会Ⅱ「現代日中の大学生を考える」

10:00～12:00 (213室)

・「現代大学生の学びと人間形成」 溝上 慎一 准教授

・「中国における大学院教育 — 博士後期課程大学院生調査に基づいて —」 姜 星海 専任講師

・「北京師範大学教育学院大学院生の職業生涯の企画現状と教育対策に関する研究」 袁 慧 助 教

▶日中院生、課外活動でも交流



▶日中院生の交流の輪



院生分科会Ⅰ

9:00～12:15, 14:00～15:30 (SR室)

・「Urban and Rural Parent's Expectations of Kindergarten」 胡 彩云 (学前教育系・博士生)

・「日本の初等教育における道徳教育に関する一考察」 李 霞 (比較教育学講座・博士後期課程)

・「A Study on the Antecedents of Organizational Commitment among the Chinese Middle School Teachers」 宋 愛江 (教育経済与管理系・博士生)

・「日本植民地教育への考察から考える教育の課題」 山本 和行 (教育学講座・博士後期課程)

・「Cai Yuanpei's Idea of Universities and His Experience of Learning in Germany」

姜 譽菲 (歴史与文化教育研究所・博士生)

・「『コモンスペース』をめぐる学びの一考察 — 『ひがしまち街角広場』の実践から —」

兄玉 華奈 (生涯教育学講座・博士後期課程)

院生分科会Ⅱ

9:00～12:15, 14:00～15:30 (102室)

・「日本における言語マイノリティにたいする教育」 齋藤 桂 (比較教育学講座・博士後期課程)

・「学力調査に見る日本の英語教育の現状と課題」 赤沢 真世 (教育方法学講座・博士後期課程)

・「Concept and Methods of Bilingual Teaching: as a Case of Lahu Nationality in Lancang County Yunnan Province」 余 保華 (教育科学研究所・博士生)

・「日中におけるメディア・リテラシー教育発展の考察 — 米加関係の視点に加えて —」

森本 洋介 (比較教育学講座・博士後期課程)

・「Teenager Idolatry in Media World and Educational Strategies to It」

李 凡卓 (公民与道德教育中心・博士生)

・「日本における女子高校生の進路選択に関する研究」 小原 優貴 (比較教育学講座・博士後期課程)

・「The Theoretical and Practical Exploration of Enterprises' Participating in Vocational Education in China: Take the "Dual System" of Vocational Education in China for example」

張 燕 (国際比較教育研究所・博士生)

最終全体会

16:00～17:00 (102室)

分科会報告

教 員:張 東嬌 副教授・金子 勉 准教授

院 生:二見 隆亮 (生涯教育学講座・修士課程)

柴原真知子 (生涯教育学講座・修士課程)

講 評:大塚 雄作 教授

尚、本シンポジウム報告書は『日中教育学系合同シンポジウム2007論文集』に附録として収録の予定である。
(文責:渡邊 洋子)